

# ベラルーシ公開情報とりまとめ

(9月1日～9月7日)

2018年9月11日  
在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

- 外務省ダブキユナス次官の韓国訪問(9月4日, 5日)
- 外務省クラフチェンコ次官のドイツ訪問(9月4日～6日)
- イラン国会ラリジャニ議長一行の来訪(9月6日～8日)
- 経済大臣が野党系政治団体代表と会談(9月5日)

## 内政・外交

### 【ルカシェンコ大統領動静】

#### ●欧州オリンピック委員会委員長との会談

9月4日、ルカシェンコ大統領は欧州オリンピック委員会コチヤンチチ委員長と会談し、第2回欧州競技会開催に向けた課題につき協議した。同委員長は、同競技に向けたベラルーシの準備状況は素晴らしく、準備に関わるスタッフも充実していて熱心に準備に携わっており、欧州オリンピック委員会としても開催に向けて最大限の支援を行うよう努める旨述べた。

(9月4日付大統領サイト)

#### ●マケイ外務大臣との会談

9月4日、ルカシェンコ大統領はマケイ外務大臣の報告を受けた。席上、同大統領は、誰かが気に入ろうが入るまいが、多元外交は世界におけるベラルーシの立地に基づくものである旨強調した。また同大統領は、経済は優先順位の第一位であり、経済が相応しく発展するよう気遣うべきである旨述べた。さらに同大統領は、輸出はベラルーシ経済の基であるゆえに貿易において輸出が強調されているとした上で、現状につき質した。マケイ大臣は貿易活動につき、本年上半年に輸出が前年同期比19.4%増加したこと、高度技術製品の輸出が増えていること輸出市場が全般的に成長傾向にあること、対中貿易が37%と大変活発に発展しており、農産物が輸出されていること等につき報告した。また欧州連合(EU)やロシアを含むユーラシア経済同盟

(EAEU)との相互関係に関する状況、特に新たな駐露大使の候補者についても協議された。

(9月4日付大統領サイト)

#### ●ルマス首相との会談

9月6日、ルカシェンコ大統領はルマス首相の報告を受けた。席上、経済情勢、2019年予算案、第2回欧州協議会開催、国内のサッカーに関する現状と見通し等につき話し合われた。

会談後、同首相は、2018年の経済成長目標を達成予定である旨大統領に報告したと述べた。同首相によれば、ここ数か月、ロシア・ルーブルの下落等の外部要因により、経済成長のペースが一定程度鈍化しているものの、政府はこうした好ましくない傾向を打破するために取り組んでいる。

(9月6日付国営ベルタ通信)

#### ●イラン国会ラリジャニ議長との会談

9月7日、ルカシェンコ大統領はベラルーシ訪問中のイラン国会のラリジャニ議長と会談した。同大統領は、両国の政治関係は素晴らしいが、貿易・経済関係をさらに高い水準に引き上げ、貿易高を10億ドルにできるはずであるとした上で、ベラルーシにはイランにとって極めて重要な製品があり、ベラルーシは現在他国から輸入している製品をイランで大量に調達することができる旨強調した。ラリジャニ議長は、ベラルーシはイランに取って友好国であり、全面的に信頼している旨述べた。

同議長は会談後、記者団に対し、両国には国際舞台での緊密な協力関係があり、地域の重要な問題に関して継続的に競技しており、議会間関係も良好である旨述べた。また同議長は、ルカシェンコ大統領が言及した貿易・経済関係の進展や貿易高の目標に関する質問に対し、全般として同大統領の意見に同意する旨述べた。さらに同議長は、両国には活性化できる潜在力が多くあり、大統領との会談では、農業、工業、その他の分野が取り上げられた旨述べた。同議長は、石油分野でのイランとの協力につき会談で協議されたのかとの質問に対し、石油は両国の貿易・経済協力の一面であるが、両国は貿易・経済のあらゆる面につき協議しており、石油分野も他の分野も活性化させる必要がある旨指摘した。

(9月7日付大統領公式サイト、国営ベルタ通信)

## 【外交】

### ●外務省クラブチェンコ次官のドイツ訪問

9月4日から6日にかけて、外務省クラブチェンコ次官はドイツを訪問した。4日、独首相府外交政策・安全保障政策・グローバル問題局ベアテレ局長との会談が行われ、二国間及びベラルーシ・欧州間の協力や地域情勢につき話し合われた。ドイツ商工会議所トライヤー会頭代行との会談では、ドイツとの貿易・経済・投資各面での協力強化につき特に取り上げられた。ベルリン・ケルバー財団のミュラー代表との会談では、国際的・地域的な当面の問題につき意見交換が行われた他、同財団との協力可能な分野についても協議された。

(9月5日付外務省サイト)

### ●イラン国会ラリジャニ議長の来訪

9月6日から8日にかけて、イラン国会のラリジャニ議長一行がベラルーシを訪問した。

7日、代表者院(下院)アンドレイチェンコ議長との会談が行われた。席上、アンドレイチェンコ議長は両国の友好議員連盟の活動の具体的な成果として、知見の共有、立法府としての活動

だけでなく両国関係における法的基盤の整備や貿易・経済・投資・人的交流等の分野での協力等をも包含する議会間協力のロードマップを準備しなければならない旨述べた。

(9月6日、7日付国営ベルタ通信)

## 【内政】

### ●地図・地球儀の記載及び販売に関して野党が抗議

8月28日、モギリョフ市の百貨店でクリミア半島をロシア領と記載した地図や地球儀が販売されている旨、非政府系のグルシコフ記者が自身のフェイスブックページに掲載した。

9月3日、ベラルーシ社会民主党(グラマダ)(野党)のポリソフ党首は教育省に対し、クリミアをロシア領と記載した外国製の地図や地球儀が販売されていた事案を受け、ベラルーシの外交政策を反映した国産の製品を出回らせるよう求める書簡を発出した。

(8月28日付モギリョフニュース、9月3日付ベラパン通信)

### ●経済大臣が野党系政治団体代表による提案を支持

9月5日、経済省クルトイ大臣は野党系政治団体「真実を語れ」のコロトケヴィチ、ドミトリエフ両共同代表と会談した。ドミトリエフ共同代表によれば、クルトイ大臣は席上、起業の振興に関する大統領令第7号の実施状況につき議会で公聴会を行うという提案の他、学校・大学での経済構造や起業の役割に関する教育や失業者に対する起業支援等を内容とする起業促進に関する大規模計画策定といった同団体による複数の提案を支持する旨述べた。

(9月5日付ベラパン通信)

## 【治安・軍事】

### ●カザフスタン軍にベラルーシ製の軍用機材を供給するためのプログラム

9月4日、エルトイスバエフ・カザフスタン大使は記者団に対し、ラフコフ国防大臣及びベラルーシの防衛産業の代表者と会談したとした上

で、カザフスタン軍にベラルーシ製の軍用機材を供給するための大型プログラムがあり、同国として防衛分野で引き続きベラルーシと協力を進める意向である旨述べた。

(9月4日付国営ベルタ通信)

## 経済

### 【対外経済】

#### ●石油分野でのロシアとの交渉

露タス通信によれば、9月3日露エネルギー省ノヴァク大臣は、ベラルーシは自国の製油所でロシア産原油を精製することで自給していることから、ロシア産石油製品をベラルーシに輸出することは非合理である旨述べた。

9月3日、国営「石油化学コンツェルン(ベルネフチェヒム)」のリュバコフ総裁は、ロシア産石油製品の対ベラルーシ輸出の禁止や制限の導入は、ユーラシア経済同盟(EAEU)創設条約の基本原則を侵害するものである旨述べた。また同総裁は、本件がロシアメディアに大きく取り上げられていることに関し、石油分野で両国が進めている交渉に影響を与える目的で大きく扱われている旨コメントした。

ロイター通信によれば、9月5日、ロシア財務省税・関税局サザノフ局長は、現在ロシア国内で進行中の、鉱物資源採掘税を引き上げる代わりに輸出関税を引き下げて相殺する政策を踏まえ、ロシアからベラルーシに対する補償があるかないかに関し、ロシア・ベラルーシ両国間で交渉が進められている旨述べた。同局長は、補償があるとすれば、年にいくらロシアの予算からベラルーシへの支援に振り向けられるかが明らかになる方式となる予定である旨付言した。

(9月3日付ベラパン通信、国営ベルタ通信、5日付ベラパン通信)

#### ●外務省ダプキユナス次官の韓国訪問

##### 第5回ベラルーシ・韓国両国合同委員会会合

9月4日、外務省ダプキユナス次官はソウルを訪問し、第5回両国合同委員会が開催され、ベラルーシ側からは同次官の他、科学アカデミー、国家科学技術委員会、国営「石油化学コ

ンツェルン(ベルネフチェヒム)」、国家投資民営化庁各機関の幹部の他、通信・情報化省や産業省からも実務担当者が出席した。韓国側団長はユン・ガンヒョン経済外交調整官。会合では、両国のコンタクトを新たな段階へと引き上げる必要性が指摘され、高度技術分野での連携の成功が強調され、中小企業発展の知見の共有の他、電子商取引や電子政府システムの開発を含めた情報通信技術分野での協力強化が合意された。ベラルーシ側はベラルーシ人に対する無査証体制導入に関心を示した。会合後、議事録が署名された。次回会合はミンスクで開催予定。

##### 韓国政府高官・議会・政府系機関との会談

外交部チョ・ヒョン第2次官との会談において、両国はハイレベルの相互訪問を含めた政治対話の活性化で合意した他、経済、学術、高度技術の各分野での協力の進展が必要であることが指摘された。

中小ベンチャー企業部チェ・スングユ次官との会談では、イノベーション・投資両分野での協力、両国の中小企業間のコンタクト拡大、将来性のあるベンチャー企業への出資にかかる連携の可能性につき協議された。

韓国ベラルーシ友好議員連盟のイ・ウォンウク会長との会談では、議会間交流を通じた両国共同行事の実施の見通しにつき話し合われた。

対外経済政策研究院幹部との会談では、経済面での二国間協力や共同での経済研究の実施の見通し等につき意見交換が行われた。

##### ベラルーシ・韓国ビジネス円卓会議

5日、同次官はベラルーシ・韓国ビジネス円卓会議に出席した。同行事は、「全国経済人連合会(全経連)」をはじめとする韓国のビジネス団体の後援で開催され、出席者に対してベラルーシの投資環境や将来性のあるプロジェクトに関するプレゼンテーションが行われた。

##### 企業関係者との会談

「ハンファケミカル」のシム・チェソン副社長との会談では、投資プロジェクトや合併事業を通じた化学・石油化学製品の開発分野におけるプロジェクト実施の可能性につき協議された。同

次官は、ベラルーシがロボット、電子、宇宙等の分野での活動に関心がある旨述べた。

「韓国貿易情報通信(Korea Trade Network)」のキム・ヨンファンCEOとの会談では、電子商取引分野での協力に対し、双方が関心を示した。

「全国経済人連合会(全経連)」のクォン・テシオン会長との会談では、韓国企業によるベラルーシ訪問ミッションの実施にかかる両国間の連携の見直しにつき話し合われた。

「韓国国際貿易協会(KITA)」のハン・チンヒョン会長との会談では、貿易・経済両面での協力活性化や電子政府・電子商取引における連携拡大につき協議された他、両国企業館の交流拡大に向けて協力することが合意された。

(9月5日付外務省公式サイト, 6日付国営ベルタ通信)

#### ●ベラルーシ・ラトビア貿易・経済・科学技術協力政府間委員会の第13回会合の開催

9月6日、ベラルーシ・ラトビア貿易・経済・科学技術協力政府間委員会の第13回会合がリガで開催され、ベラルーシ側から運輸・交通省シヴァク大臣、ラトビア側からアウグリス運輸大臣が出席した。会合では、交通・運輸、農林業、環境保護、教育、科学技術各分野での協力の他、両国の地域間及び国境に隣接する地域間の協力、両国の首都同士の協力、2021年アイスホッケー世界大会の準備と開催にかかる問題につき協議された。また、2018年2月の両国首脳会談を踏まえて策定された中長期的な協力に関する両国政府間の計画の実施状況についても協議された。

さらに同会合に先立ち、デジタル経済、環境保護、エネルギー各分野の専門家との会合が行われた他、両国ビジネス協力会議の会合や観光関連作業部会の会合も行われた。

(9月6日付外務省サイト)

#### ●ユーラシア開発銀行副総裁:EFSD 第6トランシュは9月中に供与予定

9月6日、ユーラシア開発銀行クライニー副総裁は、ベラルーシに対するユーラシア安定化発展基金(EFSD)からの第6トランシュ2億ドル供与の期限に関し、現在、同資金の供与に向けた関連文書の作成が進められており、9月中にベラルーシに送金されることになる旨発言。

(9月6日付国営ベルタ通信)

(了)